

授業概要

科目名	吃音				授業の種類	演習	講師名					
授業回数	15	回	時間数	30	時間	1	単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	ST2年	前期
【授業の目的・ねらい】 吃音の発生メカニズムや吃音症状の特徴と経過、またその検査や評価方法についての知識を学び、訓練・指導の技術を修得する												
【実務者経験】 言語聴覚士として高砂西部病院などに勤務、吃音に関わる経験を得る。												
【授業全体の内容の概要】 吃音の発生メカニズムや吃音症状の特徴と経過、またその検査や評価方法についての知識を学び、訓練・指導の技術を修得する												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 吃音についての特性を説明できる。また、言語聴覚士として症状に適した対応を説明できる。												
回数	講義内容										準備物(教材)	
1	吃音・流暢性障害の定義											
2	発達性吃音と獲得性吃音											
3	吃音発生のメカニズム											
4	吃症状（その１） 発話症状											
5	吃症状（その２） D A F 効果実験											
6	吃症状の特徴把握											
7	吃音患者に対する情報収集											
8	発話の評価											
9	心理面・性格特徴の評価											
10	訓練の種類と理論的背景											
11	環境調整											
12	間接的言語訓練											
13	直接的言語訓練											
14	セルフヘルプグループ											
15	吃音のまとめ											
	定期筆記試験											
【使用教科書・教材・参考書】												
【準備学習・時間外学習】 授業の予習復習を行ってください												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、60点以上の場合に科目を認定する。												